

## 夏季愛知県高等学校野球大会

### ～ 新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン ～

#### ◎大会運営にあたって

大会を開催するにあたり、選手の命、安全面、健康面を第一に考え、大会関係者もふくめた新型コロナウイルスの感染に対する十分な予防対策を講じながら大会の運営を実施しなければなりません。

感染を予防するため、できる限りの予防対策を考え、以下の措置を講じたうえで大会を運営していきたいと考えます。各校におかれましても、何卒ご理解の上、ご協力をお願いします。

#### 【大会運営】

- (1) すべての試合は無観客試合を原則とする。  
但し、控え選手及び保護者の入場は許可する。なお、球場によりスタンドの人数制限がある場合は球場主任の指示に従ってください。
- (2) グラウンド整備等運営の補助は当該校で行う。  
グラウンド整備の補助員は各校最大5名までとする。  
アナウンス・BS0は球場主任の指示を聞いてください。場合によってはアナウンス、BS0はなしで実施します。
- (3) 4回戦までは選手の移動を最小限にとどめるために各地区をベースとした運営を行う。
- (4) 大会前、大会期間中に関係者から感染者が確認された場合は**資料1**（大会前、大会期間中に関係者から感染者が発生した時の対応）のとおりとする。

#### 【大会への出場】

- (1) 大会の出場にあたっては任意とし、学校長の了承を得るとともに、保護者から選手の健康についての参加同意書（別紙様式）を得ること。
- (2) 大会期間中であってもチームの状況により途中棄権もありえる。

#### 【抽選会】

- (1) 各校責任教師1名の参加で実施する。関係者以外の入場は禁止する。
- (2) 座席については十分に間隔をあけて指定された場所に座る。
- (3) 入退場時は出入り口で手指消毒をし、抽選会はマスクの着用を義務づける。
- (4) 内容を精選し簡素化することにより、できる限り短時間で抽選会を終わらせる。

### 【開・閉会式等】

- (1) 開会式は実施しない。
- (2) 閉会式は優勝・準優勝校のみで実施。
- (3) 始球式・表彰等の行事は実施しない。

### 【球場への移動】

- (1) 球場への部員の移動は、基本的に保護者の送迎とし、チームがまとまってバス移動することがないようにする。やむを得ずバスで移動する場合は、換気を十分にし、マスクを着用させ、間隔を空けて座らせるなどの配慮してください。
- (2) 公共の交通機関で移動する場合は、できるだけ集団移動を避け、電車等を利用する場合は、車両を分散して乗車するなどの配慮してください。

### 【球場の環境整備等】

- (1) 毎試合終了ごとに大会役員がダッグアウトの消毒を行います。  
試合終了後は速やかにダッグアウトおよびベンチ裏通路を空けてください。
- (2) 原則ロッカー室は利用せず、スタンドに更衣場所・待機場所を設置します。  
場所については球場主任の指示に従ってください。なお、スタンドの更衣場所・待機場所は当日のベンチ入りメンバーおよび補助員の部員のみ利用です。  
球場の状況によりロッカー室を利用しなければならない場合は、球場主任より連絡します。
- (3) 顧問、部員、スタンドで観戦される予定の保護者は大会が開催される2週間前より検温・行動歴をチェックシート（別紙様式3）に記録しておいてください。場合によって提出を求めることがあります。

### 【チーム・選手対応】

- (1) 出場選手20名、責任教師、監督、記録員の23名以内に制限する。
- (2) 副部長はスタンドでの控え部員・保護者の指導等お願いします。
- (3) 部員、顧問用の手指消毒液は、各校で用意してください。
- (4) 責任教師は、選手の検温、呼吸器症状の有無の健康チェックを義務づけ、その内容をチーム同行者検温確認表（別紙様式1）に記入し、毎試合ごとに必ず大会本部へ提出してください。
- (5) 試合当日の検温で37.5℃以上ある場合は参加させない。
- (6) 水分や塩分、栄養の補給は各選手個別のペットボトルや容器を使用し、コップなどを共有しない。
- (7) 試合前後のあいさつは、試合出場9名の集合とし、他のベンチ入りメンバーはベンチ前で整列して行う。
- (8) ベンチ前での円陣を組んでの声出しは禁止とする。
- (9) 試合中の守備側のタイムでマウンドに集まった際はグラブで口を覆う。

- (10) 試合中は素手でのハイタッチ、握手は控え、ボールを触った手で目・口・鼻を触らない。
- (11) 熱中症対策も含め、試合時間のできる限りの短縮化を図るため以下のルールを適用する。
  - ① 試合前のシートノックは実施せず。(サイドノックのみ)
  - ② 9回同点の場合10回よりタイブレークを導入する。
  - ③ 試合終了後の勝利チームの校歌は流さない。
- (12) ベンチ内では、マスクの着用は制限しないが、人と人との間隔をとり、近距離での会話や大きな声での声援は控える。
- (13) チームはスタンドで更衣し、次の試合まで待機。ベンチの入れ替えの際は役員の誘導で行う。
- (14) 試合後、学校のセレモニーは禁止。速やかに帰宅すること。

#### 【メディア対応】

- (1) 試合前の取材は原則禁止し、試合後の選手や監督への直接取材は代表取材等を考え、密閉・密集を避けて実施できる取材スペースを設ける。(スタンドや球場外など)

#### 【救護体制】

- (1) 各球場に医師および看護師が常駐し、熱中症やけが、新型コロナウイルス感染予防に対応する。球場入りした人の中に発熱や体調不良など感染が疑われる人が出た場合はすみやかに本部へ連絡してください。救護室前で検温のうえ、疑いなしであれば救護室で対応。疑いがある場合は医師の指示を仰ぐこと。
- (2) 発熱等の症状を訴える選手を確認した場合、責任教師から保護者に連絡を取り迎えに来てもらう。

#### 【応援・観戦】

- (1) 無観客試合を原則として実施。

但し、控え選手及び保護者の入場は許可。(部員1名につき保護者は2名まで)

  - ・責任教師は、保護者入場確認表(別紙様式2)を本部へ提出してください。
  - ・大きな声を出しての応援や鳴り物を利用した応援は自粛してください。
  - ・控え選手、保護者は自校の試合のみの入場とし、入場の際は責任教師立ち合いのもと大会役員が確認のうえ入場させる。入場の際、保護者には検温を実施する。
  - ・マスク着用による熱中症等の事故防止のため2m(前後も含め)以上の距離を空けて座れる場所を確保できればマスクの着用は特に必要としない。
  - ・当日の検温で37.5℃以上ある場合は入場させない。
  - ・倦怠感、咳、咽頭痛等の症状がある人は、入場を自粛する。
- (2) 大会役員の指示で、他校の控え選手、保護者と密集にならないように球場への入退場を行う。

(備考) 以下の書類は高野連ホームページ申請書ダウンロードよりダウンロードして作成してください。

- ① 様式1 : 「夏季愛知県高等学校野球大会チーム同行者検温確認表」
- ② 様式2 : 「夏季愛知県高等学校野球大会保護者入場確認表」
- ③ 様式3 : 「検温・行動歴チェックシート」

## 大会前、大会期間中に関係者から感染者が発生した時の対応

### 1 感染者が発生した場合

#### A：大会役員・委嘱役員等（毎日球場へ来場する人）

感染者以外の大会役員、委嘱役員が罹患者とどのような接触歴があったのかを確認。  
濃厚接触者の場合は判明から2週間は自宅待機とする。

#### B：委嘱役員・審判員等（毎日ではないが複数回球場へ来場する人）

感染者以外の審判員、委嘱役員等が感染者とどのような接触歴があったかを確認。  
濃厚接触者の場合は判明から2週間は自宅待機とする。

#### C：参加校関係者〔顧問、部員〕（試合の時だけ来場する人）

感染者以外の顧問、部員は基本的に濃厚接触者となると思われるため、試合への参加を自粛する。

### 2 家族や職場で感染者が出て濃厚接触者となった場合

上記 A、B の人：該当者は2週間の自宅待機とする。2週間経過後、高熱等の症状が出なかった場合は復帰可。

上記 C の人：濃厚接触者は自宅待機とし、それ以外の顧問、部員で試合参加可。

\*罹患者が発生した場合、本人が発症2日前から現時点での行動歴を明らかにすることが大切です。大会役員、審判員参加校指導者、部員など試合にかかわった者は試合開催2週間前の行動歴（いつ、どこに行き、誰と会ったか、滞在時間）を記録しておくこと。

### \*濃厚接触者とは

患者が発病した日の2日前以降に接触した者のうち、以下の範囲に該当するものである。

- (1) 患者と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった者。
- (2) 適切な感染防護なしに患者を診察、看護もしくは介護していたもの。
- (3) 患者の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高いもの。
- (4) 手で触れること又は対面で会話することが可能な距離（目安として1メートル以内かつ15分以上の接触）で、必要な感染予防対策なしで、患者と接触があった者

国立感染症研究所感染症疫学センター「新型コロナウイルス感染患者に対する積極的疫学調査実施要項」

「積極的疫学調査要領における濃厚接触者の定義変更等に関する Q&A」をもとに基準を作成